



学校だより 6月号

日野市立日野第八小学校
校長 船山 徹

令和7年5月30日発行

電話 042-591-2411 ファクシミリ 042-591-2412

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino8/>

工夫と改善を続けて… なかよしプレタイムの発展

校長 船山 徹

本校の特色である「なかよしプレタイム(通称:なかプレ)」は、スタートから3年目を迎えました。異年齢で構成する「なかよし班」の仲間と、月に1回、運動遊びに思い切り取り組む時間で、6年生がリーダーとなり、全校の子供たちが一体となって運営しています。

3年間を通して、この活動が、少しずつバージョンアップされています。6年生を中心とした子供たちが、「今よりもっと楽しい『なかプレ』にするために…」と考え、自分たちにできる小さな工夫を積み重ねてきた証です。

今年度、第1回「なかプレ」で見られた小さな工夫の一つが「名札」でした。この「名札」の発案は、昨年度の6年生でした。昨年度の6年生が創設した「なかプレ実行委員会」で、「班のメンバーと もっと仲よくなれる工夫はないだろうか…」と考え、話し合った結果、「名札をつけ、お互いに名前を呼び合って遊べるようにしよう」と提案し、ガムテープで作った名札を班のメンバーに配りました。これが、なかプレにおける「名札」の誕生でした。6年生がつくってくれた名札を身に付け、名前を呼び合って楽しそうに遊ぶ姿に、あたたかさを感じました。

今回も、昨年度と同様の名札を6年生が用意しました。しかし、よく見ると、名札の横に小さな数字が書いてありました。この数字は何だろう…そう思って子供たち姿を見ていると、数字はその子供の「学年」を表していることが分かりました。上級生は、この数字を見ながら、その子供の学年に応じた説明の仕方を工夫したり、励ましの声かけを工夫したりしていました。下級生にとっては、この数字を見て、誰がリーダーで、誰がサブリーダーなのかがはっきりと分かり、上級生を頼りにする姿が見られました。班の仲間同士のかかわりが、これまでよりも一歩深まったことを感じました。

また、6年生は、この名札を出席確認のツールとしても使っていました。集合した仲間に順次名札を渡していくことで、手元に残った名札を見れば、まだ、到着していない仲間が、何年生の誰なのか、すぐに分かり、自分たちから声をかけに行ける…という仕組みです。そのため、集合の確認がこれまでよりも素早くでき、遊ぶ時間を長く取ることができました。

先輩たちが考えた工夫を、さらに改善して、「今よりもっと楽しい活動」に作り替えていく…このような「バトン」は、これから先も、ずっと続いていくことでしょう。そして近い将来、子供たちの主体的な工夫・改善によって「学校づくり」が行われることが、日野八小の文化として根付いていくことを確信しています。本校が推進している「子供たちがつくる学校プロジェクト」は、これからも、このようにして子供たちの力で進められていきます。ご期待ください。

「なかプレ」に協働参画してくださっている「八小お助けしよう隊」の皆様の声より

- 今年度の初回なのに、全体がスムーズに進みました。3年間の積み上げを感じました。
- 6年生のリーダーとしての動きが素晴らしかったです。今の6年生が、昨年、一昨年と、その時の6年生の動きをしっかりと見て、自ずとリーダーとしての動き方を学んできていたことが分かりました。
- 「名札」が進化していました。学年が書かれていたことで、お互いに声をかけやすくなり、触れ合いが深まっていたようでした。名札を使って出席確認をしていた手際よさにも驚かされました。
- 班のメンバーが変わっても、遊び方や遊びの工夫の仕方が継承されていることにびっくりしました。
- 迷子になる子供もなく、遊びをスタートするまでの時間が短くなって、遊ぶ時間が多く取れていました。経験を積み上げることで、子供たちが、自分たちの遊びを自分たちで楽しくしていることを感じました。

【6月の行事予定】

日	曜	行 事 予 定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	挨拶週間始 委員会活動 歯科検診(4~6年)	5	5	5	5	6	6
3	火	交通安全教室(1年) 藤井 SC	5	5	6	6	6	6
4	水	午前時程 リトルホース体験(1年)	4	4	4	4	4	4
5	木	音楽集会	5	5	5	6	6	6
6	金	安全指導 挨拶週間終	4	4	5	5	6	6
7	土							
8	日							
9	月	水泳指導始 クラブ活動	5	5	5	6	6	6
10	火	読書週間始 朝読書 藤井 SC	5	5	6	6	6	6
11	水	朝読書 空手道体験学習(4年)	4	4	4	4	4	4
12	木	朝読書 セーフティ教室 藤井 SC	5	5	5	6	6	6
13	金	朝読書 佐藤 SC	4	4	5	5	6	6
14	土							
15	日							
16	月	クラブ活動 移動教室事前健診(6年)	5	5	5	6	6	6
17	火	朝読書 日光移動教室(6年) 藤井 SC	5	5	6	6	6	6
18	水	朝読書 日光移動教室(6年) 給食試食会	5	5	5	5	5	5
19	木	朝読書 日光移動教室(6年)	5	5	5	6	6	6
20	金	読書週間終 朝読書 読み聞かせ(1,2年)	4	4	5	5	6	6
21	土							
22	日							
23	月	クラブ活動	5	5	5	6	6	6
24	火	避難訓練(一斉下校) 藤井 SC	5	5	5	5	5	5
25	水	なかよしプレイタイム	5	5	5	5	5	5
26	木		5	5	5	6	6	6
27	金	読み聞かせ(3,4年) 佐藤 SC	4	4	5	5	6	6
28	土	ふれあい動物広場(10時~12時)						
29	日							
30	月	挨拶週間始 委員会活動	5	5	5	5	6	6

年間目標		すすんであいぎつをしよう
6月	生活目標	廊下を正しく歩こう
	保健目標	歯を大切にしよう
	給食目標	衛生に気を付けて食事をしよう

～熱中症予防に向けて(お願い)～
 気温の高い日が続いています。熱中症予防のため、帽子の着用、水筒の準備などご配慮をお願いします。
 また、運動時においてはマスクを外すように指導を行い、熱中症予防に努めてまいります。

校外学習に行ってきました！

2年 校外学習(昭和記念公園)

4月30日(水)に、校外学習で昭和記念公園に行きました。「安全とマナーを守って、もっと仲良くなるう！」をめあてに、みんなで出掛けました。モノレールに乗り、立川北駅から公園内のみんなの原っぱを目指して歩きます。到着して、まずは新しい学級で遊ぶ時間。「ハンカチ落とし」や「だるまさんが転んだ」、「おおかみが来たぞ」など学級ごとに仲良く遊びました。その後は広い原っぱで思い思いに体を動かし、あつという間に時間が過ぎてしまいました。おいしいお弁当を食べて、絨毯のように一面に咲くネモフィラの花の中を歩いて帰路に着きました。たくさん歩いて疲れたけれど、とてもよい一日になりました。



3年 校外学習(府中郷土の森)

3年生は府中郷土の森に行きました。京王線で分倍河原駅に行き、遊歩道を歩きました。府中郷土の森に到着し、すぐにプラネタリウムを見ました。周辺で見られる星空の説明を受けたり、楽しく星座を探したりしました。その後、オリエンテーリングで、地図を見ながら先生たちが待つチェックポイントを探して歩きました。すぐに見付けることのできたグループもあれば、なかなか見付からずに苦労したグループもありましたが、どのグループも声を掛け合いながら協力してゴールすることができました。帰りも長い距離を歩きましたが、子供たちは疲れを見せながらも最後まであきらめずに歩きました。その姿に頼もしさを感じる一日でした。



4年 校外学習(高尾山)

4年生は校外学習で高尾山に登りました。学年目標である「STARTry(スタートライ)」と、校外学習を成功するためのキーワードであった「正しい行動・思いやり・協力」という言葉を出発式で確認し、出発しました。当日は晴天に恵まれ、予定通りの1号路と4号路を通って登りました。1号路と4号路には、急勾配の上り坂や地面から木の根っこが飛び出ている山道があります。登山時のルールとマナーを守る姿や友達と声をかけ合って協力して登る姿が見られました。励まし合いながら登り、山頂でお昼ご飯を食べました。疲れた表情をしていた子供もいましたが、「美味しい！」と言って、笑顔でお弁当を食べていました。下りはリフトに乗りました。事前にリフトのことについて子供へ話をしたときには「リフト乗ったことないから怖いな…」と緊張気味の子供もいましたが、実際に乗った後には「楽しかった！また乗りたい！けれど、リフトに乗るためにはまた登らないといけないのか！」と、感想を話している子供がいました。高尾山に行くまでと帰るときには、電車に乗りたり、道路を歩いたりしました。自分たちだけでなく、一般の方も利用するという意識を、正しい行動をとることができていました。



なかよしタイム

なかよしタイムでは、1～6年生のなかよし班(縦割り班)に分かれて、お互いの顔と名前を覚えられるようなゲームをしたり、班ごとに運動遊びを「なかよしプレイタイム」に向けて話し合いをして遊びを決めたりします。それぞれの学年が、自分の学年の役割を意識しながら、異学年との交流を深めています。

4月24日は第1回なかよしタイムがありました。各教室に集まり、初めて会うメンバーや担当の先生と自己紹介し、その後は「からだじゃんけん」や「たけのこニョッキゲーム」などの室内遊びをしました。

5月15日には、第2回なかよしタイムがありました。「なかよしプレイタイム」で取り組む運動遊びを、班長・副班長の6年生が中心となって話し合って決めました。運動遊びの種類や内容が分からない低学年のために、6年生が丁寧に説明をする様子が見られました。

昨年度の6年生からしっかり引継ぎをしてもらったこともあり、第1回、第2回ともに6年生は緊張しながらも一所懸命に全体をまとめていました。下学年に優しく声掛けをするなど、最高学年として立派に行動する姿がたくさん見られて感心しました。

今後も子供たちが計画して活動する中で、主体的に実践する力を育成し、「子供たちがつくる学校プロジェクト」を実現していきます。



令和7年度 第1回学校運営連絡協議会より

5月17日(土)に学校公開の開催に合わせ、第1回の学校運営連絡協議会を実施しました。学校運営連絡協議会とは、学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して、児童の健全やかな成長を図り、地域に開かれた学校づくりを推進するために設置される機関です。地域の有識者、健全育成に関わる関係団体等の代表者等から成る学校評議員の皆様によって構成され、学校の運営方針や教育内容について校長の求めに応じて助言や情報提供、健全育成に関わる協議、改善充実を図るための評価等を行います。今回は、「保護者や地域と一緒につくる『子供たちがつくる学校プロジェクト』の推進」に向けて、評議員の皆様から以下のようなご意見をいただきました。



- 昨年度は3、4年生の子供たちが保育園に来てくれて、園児はとても喜んでいて、八小の子供たちにとって有意義なものとなるので、早めに日程調整をして今後も交流を続けていけるとよい。
- 自治会で実施しているゴミ拾い活動に子供が参加することは少ない。地域で行っている活動を知ること、参加する子供も増えるのではないかと。地域の大人が地域の子供に関わる機会を増やしたい。
- 育成会でも、地域の子供たちとの関わりを求めている。学校からの要望があれば、できることは協力したいと考えている。例えば、植物を育てることの楽しさや収穫の喜びを知ってもらうことなどを目的として一緒に活動することで、子供たちが自分から活動することのきっかけになるのではないかと。
- 民生委員も子供たちと関わりをもちたいという思いがある。昔遊び等の学習で関わることができるのではないかと。畑仕事をしている委員もいるので、子供たちが農業を学ぶ機会を設けることもできる。
- 保護者や地域の方々も、子供たちと一緒に活動したい気持ちはあるが、どのように参加すればよいか分からないのではないかと。短時間での参加、特定の活動のみの参加等、柔軟な参加形態を検討し、学校便りやウェブサイト、回覧板等で活動内容や募集状況を積極的に発信していくとよい。

評議員の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。いただいたご意見等は、保護者アンケートとあわせて、今後の教育活動に役立ててまいります。